

令和6年度（2024年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

民 法

A日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和6年度（2024年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	民	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（10点）

民法177条における背信的悪意者排除論について、説明しなさい。

### 問題2（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

不動産業者Aは、別荘地を開発し、同地において、リゾートマンション「甲」（以下、「マンション甲」という）を建設して分譲するとともに、各種のスポーツ施設を所有し、管理している。スポーツ施設の利用は、会員制団体である甲クラブのクラブ会員に対して認められていた。

マンション甲の広告や売買契約書には、甲クラブの会員権付との記載があり、マンション甲は、甲クラブの会員権付として売り出されており、マンション甲の区分所有権の購入者はその購入と同時に、甲クラブの会員になるとされていた。また、マンション甲の広告や案内書には、甲クラブの会員が利用できるスポーツ施設にはテニスコートや屋外プールが設置されており、1年後には屋内プールが完成予定である旨が記載されていた。

Bは、屋内プールを利用して、余暇を楽しみたいと考えた。そして、Bは、Aから、マンション甲の1区分を代金3000万円で購入する旨の契約を締結し、同額をAに支払って、引渡しを受けた。また、甲クラブの会員権1口を購入する旨の契約を締結し、登録料等として300万円を支払った。

Bが、マンション甲の1区分の引渡しを受けた後、1年が経過したが、スポーツ施設に屋内プールは設置されないままである。BはAに対して、再三にわたり、屋内プールの建設を求めたが、いまだ着工さえされていない。

[問い]

Bは、Aに対して、既に支払った合計3300万円の返還を請求することはできるか。

以上